



佛名会のご案内

〒 915-0823  
福井県武生市本町 10-2  
大寶寺  
TEL/FAX (0778) 22-1682

今年は秋口には暖かい日が続きましたが、十一月下旬になり急に寒くなってまいりました。

さて、例年のごとく佛名会(ぶつみようえ)を十二月十七日(土)の午前中から十八日(日)の午前中にかけて勤めます。煩惱にさいなまれた一年間の垢を落とすためにも、みなさまお誘い合わせのうえお詣りいただきたくご案内いたします。

佛名会では塔婆回向があります



本堂では、法名の書かれた塔婆を手にした僧侶が回向を致し、ご先祖の供養を致します。

すが、回向師上人のご回向に合わせて、一座の僧侶が礼拝をして、ご先祖のご供養を致します。足腰の達者な方は僧侶に合わせて礼拝をして頂きますと、より功德が深まると言われております。

さて、仏具など仏様にまつわる品物で処分に困っておられるもの、あるいは五重相伝の特別回向や贈五重の塔婆などございましたら、帳場もしくは寺にお出だしく下さい。十八日の十一時より、お浄めをした上でお焚き上げをいたします。

### 大寶寺 佛名会のご案内

十二月 十七日(土)

午前九時半より

塔婆回向

布教

夜は座敷にて別時念仏

十二月十八日(日)

午前九時半より

塔婆回向

布教

浄焚会(午前十一時より)

布教・回向師

敦賀市杉箸 養福寺

渡邊俊祐上人



浄焚会。古い戒名札、位牌お経の本、木魚などご供養をした上でお焚き上げをします。ご希望の方は寺もしくは帳場まで。無料。

### ○佛名会について

『佛名経』には「およそ一万三千もの佛・菩薩の名が列挙され、「もしここに於ける佛名を称えれば、平穩な日々を過すことができ、諸難を逃れ、諸罪が消え、悟りが得られる」と説かれています。佛名会は歳末に一心に佛様や菩薩様の名をとえ、知らず知らずのうちに犯したさまざまな罪を懺悔し、身心を清めて新年を迎えるための法要です。浄土宗では「佛名会」は「三千佛名会」とも呼んで、過去・現在・未来の三世の諸佛のみ名を称えることをいいますが、当山では南無阿弥陀佛のお念佛をとえ、礼拝して罪深い自分自身を懺悔する法要としています。

### 塔婆回向のお勧め

佛名会では各家先祖代々また先になくられた方々のご供養を一霊、六百円でいたします。別紙申込用紙に法名をご記入の上、帳場にてお申込みください。

なお、武生地区の檀信徒の皆さまには、例年ご回向を頂いている霊位の一覧(黄色のA5版の用紙)をお配りいたします。例年同様、副住職がお申込みを頂きにうかがいますので(12月7日以降)、変更がある場合にはそのときにお申し出ください。



十一月二十九日、前日の風で境内のイチョウの葉が一斉に落葉し、本堂の前を黄色く染め上げました

トピックス

○十夜法要

12月14日(日) 15日(月)

例年よりも気温が高く比較的平穏なお十夜となりました。布教師は南越前町赤萩の善導院、清水涼祐上人にお願いました。夜は境内の木になった栗の実の入った小豆がゆがふるまわれましたが、大変好評でした。

○雪解け、雪囲い

12月20日(日)

幸い好天に恵まれ、各地域からおいで頂いた檀信徒さま14名のお手伝いを頂いて、庫裏、離れ、式台の雪囲いと境内の庭木の雪吊りをして頂きました。縄



をふんだんに使った力作もありますのでお近くにお寄りの際は「見学を。」

○知恩院にて加行

12月5日(日)から24日(金)まで

当山副住職の長男が三週間の日程で加行を受けます。加行を終了すると一人前の僧侶としての資格が認められます。

○駐車禁止の看板の設置について

大寶寺の駐車スペースが広くなり大変ありがたいことですが、最近、近所の空き店舗で健康食品の販売などがある際に無断駐車をする人が増えてきました。無断駐車は庭掃き、除雪、また、いざというときの障害になりますので、駐車禁止の看板を設置することにしました。

当山の檀信徒、あるいはそのお知り合いの方につきましては寺の用事以外でも駐車して頂いて結構ですが、寺に一言ご連絡を頂きますようお願い致します。

護寺費、墓地管理費、

秋初穂について

ということが主な理由です。

今年二月の総代・世話人会におきまして、来年より大寶寺檀信徒の家一戸につき年間五千円の護寺費、ならびに広さに応じて、年間千円から三千円の墓地管理費をお願いすることが決定されました。

これは、市街中心部の人口減にともなう貸車庫、駐車場収入の減少、また、秋初穂を有志のお檀家さまからのみいただいている不公平の解消

我が我がのガを捨てて、

おかげおかげのゲで生きよ

「みなさんのご支援のおかげで、無事定年を迎えることができました。」などと、「おかげ」ということばは日常的によく用いられる。

ところで、「おかげ」とはどういう意味だろう。辞典には次のように書いてある。

【おかげ、御蔭】神仏の助け。加護、他人の助力。援助。庇護、ある事や物が原因となって生じた結果。

「おかげ」ということばの「かげ」には「影響力」、「働きかけ」という意味があるようだ。

真夏の強い日差しは日傘をさすことでのぐことができず、傘の働き、すなわち傘の「おかげ」で、日陰ができて、人は日射病にならずにすむというわけだ。ところで、「かげ」ということばには次のような意味もある。

【かげ、蔭】物などにより視線がさえぎられ見えない所、人の目のとどかない所、表面にあらわれない所。物事の裏面。

「おかげ」にもいろいろあるが、神仏の「おかげ」は人の目には見えないことが多いようだ。それは「神仏の働きかけ」の多くが人知を超えるものであり、また、人の目が往々にして、煩惱に曇っているからであろう。

「おかげさま、という感謝の気持ちで家族、友人、上司や同僚、あるいは家畜や食物、住まいや職場、社会的立場などに限るのでは不十分だ。我々の目に届かないところ、すなわち神仏のおかげに思いをいたして感謝せよ。」と、いうのが日本の祖先が「おかげさま」ということばに託したメッセージであろう。お念仏の教えも、また、そのような「おかげ」を喜ぶことで、充実した人生を送ることができる」と説いているのではないだろうか。

おかげさままで今年も一年無事に過ごすことが、できました。



【蛇足】自信たっぷり「自分のためにプレーする」と言ってはばからないスポーツ選手の諸君。飛ぶ鳥落とす勢いで銭もうけにいそしむIT企業や投資ファンドのオナさん。日本人なら誰のおかげで、やっていけるか分かってるんでしょね。まさか思っていないよ。ね。「自分のおかげ」なんて。

副住

